

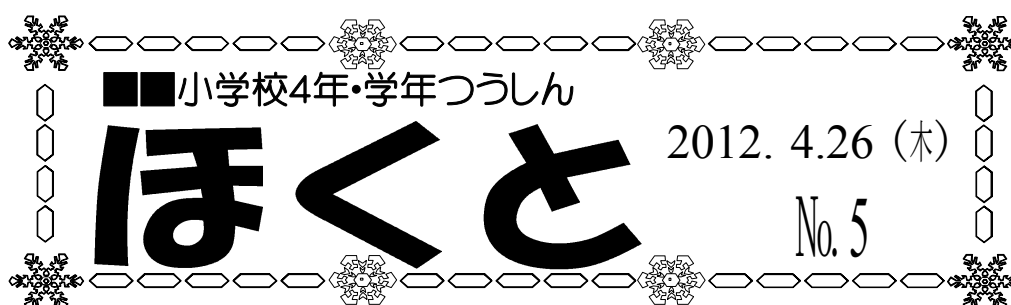
第3章 フリーハンドの総合学習

第4節 環境学習としての総合学習

「環境」をテーマにした総合学習としては、2008年度「GIFT」（ケナフを題材にした実践）や、2012年度「川の旅」があります。この節では、「川の旅」を取り上げます。

■吐山発 川の旅■

1 はじめに



おうちの方へ特集号

「吐山発 川の旅」出発！！

今年の総合的な学習の時間のテーマは、「吐山発 川の旅」です。サブテーマは、「吐山の川はどこから来たの？ 吐山の川はどこまで行くの？」です。

学習活動は、学校周辺を起点に源流に向かう旅（吐山の川はどこから来たの？）と河口に向かう旅（吐山の川はどこまで行くの？）の大きく2つに分かれていて、まずは源流に向かう旅から始めます。

先日、学校周辺の川の流れを追って散策しました。地図で川の出会い地点が2つあることを見つけていたので、その区間、つまり下部神社前からアップリカ付近までを歩きました。5月の連休明けからは、出会い地点の先にある3つの川筋を遡る旅をします。

さて、過日の散策の際、下部神社の裏手で川の支流を見つけました。実際は、

見つけるように私が連れて行ったのですが…。そして、その小川をたどって歩きました。小川は道路沿いに小学校の体育館付近まで続き、そこで道路下を通過して田んぼ側へ流れを変えます。そして、元製材所前で左に折れ、一部は国道前で川に流れ落ち、一部は右折して道路下を通りそのまま真っすぐこぶしが丘方面から流れてくる川に流れ落ちていました。何のために？という疑問を残したまま、その日の散策を終えました。



ところで、「井手(いで)」ってご存知でしょうか。田んぼに水を引入れるために川の流れをせき止めてある所を指す言葉で、その水路自体を指すこともあります。子どもたちがたどった小川は「井手」で、神社脇でせき止めているので地元では「宮井手」と呼んでいます。



24日の朝、恵比寿神社前の田んぼに水が入っているのを確認して、子どもたちと見学に行きました。そこで子どもたちは何のための小川かを理解しました。そして、再びせき止め場所まで行きました。川と田んぼの高さを比較して、井手という自然流下式用水路を作った先人の知恵を学ぶためです。学校に戻って、この細い水路が潤す田んぼに黄緑色を塗りました。子どもたちは、その広さに驚いていました。

旅はまだ始まったところですが、子どもたちは興味津々。総合の時間が楽しみで、待ち遠しくてたまらないようです。そんな子どもたちの学習意欲に「満腹感」を与えてやるのが演出家たる担任の仕事。次に控えている源流への旅ではどんな仕掛けを作ろうかと、ただいま思案中です。

遠い先の話になりますが、2学期は河口に向かう旅です。今年は大きなサプライズがありまして、河口までのバス旅が実現しました。詳細を申し上げますと、森林環境教育の補助金で活動補助をしていただけることになり、バスを借り上げ、流域見学や水質検査などをしながら河口まで行く予定です。

源流たんけん

曾賀野由佳

学校から第二センターのところまで行きました。第二センターに着いたら、道が二つに分かれていました。先生が「どっち行くでしょうか。」と言ったので、わたしたち全員は「右。」と言ったら、先生は「ブー。」と言って左へ歩いて行きました。ずっと歩いて行ったら川が見えてきたので、そこにすわって、川の様子や川はば、流れをプリントに記録しました。わたしは、川の音はどんなかと、場所はどこかを記録しました。みんな書き終わったら、出発しました。ずっと歩いていたら、もう一つ川を見つけました。またすわって、プリントに記録をしました。二つ目の川で、私は手を水につけてみました。少しつめたかったです。かいだんみたいな川でおもしろかったです。

源流たんけん

泉谷垣奈

さいしよの道は二つに分かれていました。まずは右の道を行きました。すると、第二センターが見えました。川があつたところは、第二センターの入り口のところでした。その川はすごく水の音が聞こえていました。二つに道が分かれていたので、さつきは右に行つたけど今度は左の道を行きました。少し道を上つていくと、川が見えました。わたしは、その川がきれいだと思いました。ずっと上つていくと、ダムのところからきれいな水が流れていました。そこにあつた橋をわたって、また道を上つていきました。その時すごく足がいたくて、歩けないかと思つてがんばつて上りました。そして、左を見てみると、ダムが見えました。すごかつたのでびっくりしました。まっすぐ行くと、ささの葉がいっぱいあつて、安全メガネをかけました。だけど、手にあつたり、顔にあたつたりしてびっくりだったので、手や顔が切れていないか心配でした。石がいっぱいある川が見えました。長ぐつだったので入れました。手を水につけると、つめたかったです。そして、もどりました。次にすごくきつい坂道がありました。そして、それが何回もつづきました。そして、一番上にあがりました。すごいきつかったです。

源流探検～戒場山・額井岳編～②

源流探検に行った

南田愛弥

まず、第二センターで川を三分間見ました。しずかになると、川の音がすごく聞こえました。こんななにいっぱい水があるのになんでこんな音しか出ないんだろうと思ったし、山の水がどうやって流れてくるのかふしぎでした。でも、ふしぎがいっぱいのほうが楽しいんじゃないかと思っ、ふしぎだなど思うのはやめました。これから行く山は、戒場山と額井岳です。川が流れているところの近くには石がいっぱいありました。次にダム of 近くで三分間川を見ました。音は、第二センターの前よりあまり聞こえませんでした。水に手をつけてみると、つめたかったです。どれぐらいつめたかったかというと、つけたあと手が少しの時間動かなくなりました。川の水はこんなにつめたいんだなと思いました。次は、源流の所では書けなかったのですが、少し下りてから書きました。音は聞こえませんでした。ちよつとしか流れてなかったけど、いっばい出合っつていっばい水が流れるのがすごかったです。



戒場山中腹の源流



源流たんけん

山崎悠

今日、源流たんけんに行きました。まず、第二センターをおとつてちよつと上にあがりました。川が流れていました。その上をのぼっていくと、だんだん急になってきました。上にあがっていったら、水が少なくなっていました。のぼる前は、すごい水が流れていました。上にのぼっていくと、ふしぎなことが一つありました。上から水が流れてきていないのに、石がいつばいあつまっているところに水がたまっています。草尾先生が、「上から流れてきた水が土にしみこんで水たまりができています。」と言ってくれました。はじめて知ったので、わたしはびびりました。一番上に着いたとき、わたしはすぐくうれしかったです。戒場山の一番上でした。のぼるときはつらかったけど、源流たんけんは楽しかったです。次に、一回目とはちがう場所へ行きました。長い坂をずつとのぼっていきました。わたしは、坂をのぼるのがつらかったです。わたしは、あまりにもつらかったから、木のえだにたよっていました。あすかくんが、「着いたあ。」と言いました。わたしは、ほっとしました。次の源流たんけんが楽しみです。

源流探検

山本明日翔

今日、源流探検に行きました。山のほうをずつと行くと、川はぼが小さくなっていました。とんだら行けそうでした。そして、どんどん行くと、どんどん川はぼが小さくなっていました。水をさわりました。とても冷たかったです。そこからどどん行きました。そして、水が出てきた所までより少なかったのでびびりました。そして、もう一つの川の方へ行きました。その方は、すごい坂道だったのでとてもつかれました。坂をずつと歩いて、坂のない所で休けいしました。先生が、「休けいが終わったら来て。」と言ったので、行ってみると川が流れていました。ぼくは、こんな場所まで水が来ているんだなと思いました。ぼくは、水が出ている所まで行きたかったです。でも、草があつて行けなかったのがくやしかったです。おもしろかったのでもいいやと思いました。また今度の源流探検が楽しみです。

■小学校4年・学年つうしん

ほくと

2012. 5.21 (月)

No. 10

源流探検～貝ヶ平・香醉編～①

源流たんけん

第二回目の源流たんけんは、今日行きました。まずはじめに、まどばの近くの川を見に行きました。まどばの近くの所では記録ができないから、もうちよつと先へ行って記録しました。記録が終わったら、先へ歩いて行きました。上り坂ばかりでした。次は、木谷さんの家の前に川があったから、そこでまた川の記録をとりました。わたしは、水にさわってみたけど、時間がなかったので水にはさわれなかつたです。記録が終わったら、どろんどろん歩いて行きました。坂道ばかりだったので、きつかつたです。歩いていたらまた川がありました。わたしは、今度は水にさわって見たかつたから、記録をしてから水にさわりました。手をつけてみたら、とてもつめたかつたです。

先生が、「もう行きますよ。」と言ったので、源流の所まで歩いて行きました。とちゅうでしゅぎようばみたいなの川がありました。でも、ちよろちよろしか流れていませんでした。私と垣奈と悠が、「のめるんちやう。」と言ったら、先生が、「カエルの鳴き声があるから、カエルのおしっこちやう。」と言ったから、けつきよく水はのみませんでした。さきさき歩いて行くと、やつと源流にたどり着きました。少しきつい坂もあつたけど、源流まで来られたのがうれしかつたです。源流に着いたところで記録をしました。記録が終わったら、学校へ帰りました。しんどかつたけど、とても楽しい一日でした。



曾賀野由佳

泉谷垣奈

今日、源流たんけんに行きました。さいしよは、神社の前の道をおりました。そして、少し行くと、まとば商店が見えました。道をわたると、川がありました。その川には、魚がいっぱいいました。そして、ずっと歩いて行くと、木谷さんの家が見えました。木谷さんの家の前に川がありました。その川に手をかけると、つめたかったです。そしてまた、歩いて行くと、今度は坂道がありました。少し行くと、ふつうの道と、歩いて行けそうな道がありました。まず、歩いて行けそうな道を行いました。すると、ささがありました。あぶないなと思ったので、安全メガネをかけました。少し行ったら、平らな所に出ました。そして、平らな所で写真をとりました。そしてまたもどって、坂道を歩いて行きました。すると、少しだけ水が流れていました。その水はのめると書いていたので、のみました。すぐくおいしかったです。そしてまた、もどりました。すぐく足がいたかったけど、楽しかったです。

松田匠真

まとばの近くの川に向かって、学校から行きました。ぼくはきのう、サッカーの練習に行ったので、ちよつと歩いただけで、足がいたくなりました。つながっている川を見つめました。でも、流れはおそかったです。だいぶ歩いてみると、木谷さんという家があつて、その前に水が流れていました。見たところ、まわりに草がいっぱいはえていて、音もはげしくて、みんなつめたいと言つてさわつていました。歩いてみると、のめる水がパイプの先のようなところから出ていて、みんなのみました。ぼくも、のどがかわいていたのでのみました。水をのんだところで、源流にむかつてまた歩いていたら、「源流の近く。」と先生が言いました。ぼくは、もうすぐと思つたけど、下りる場所がなかった。歩いてみると、下りられそうな所がありました。でも、いっぱいはいっぱがあつたので、下りづらかったけど、先生が「着きました」と言つたので、やつとかと思ひました。でも、水がほとんど土にしみこんでいました。すると先生が、「水平になつている。」と言つたので、ぼくは心の中で「だからかあ。」と思ひました。ついでに桜井の所も行ってから、もどりました。帰りは、先生にシロツメ草の遊び方を教えてもらつて、みんな遊びながら帰りました。これで源流探検が終わりだったので、いっしょうけんめい歩きました。それでも楽しかったです。

源流探検～貝ヶ平・香酔編～②

源流探検

まとは商店の前で記録しました。やっぱり水のりょうが多いけど、あまり音は聞こえませんでした。川のまわりには、石がいっぱいありました。川のはらは、走ってとんだら反対側まで行けそうでした。次は、木谷さんの家の近くで記録しました。川の水をさわったら、一回目の源流探検の時よりつめたかったです。はばは、ふつうに一歩歩いたら反対側に行けそうなきがしました。木谷さんの家にいる人は、川が近くにあるからべんりだと思いました。二回目の源流探検の水の方がつめたいのがびつくりです。次は、源流の記録は下りてからしました。土の中に水がいっぱいしみこんでいたので、足もとがぐしょぐしょでした。水にちよつとつけたら、気持ちよかったです。長ぐつだつたら行けたのになどか思いました。でも、源流を見られてよかったです。ここまで来たついでに、桜井まで行きました。桜井まで行つたついでに、「桜井まで来ました写真」をとりました。桜井まで行けてよかったです。

南田愛弥



A 吐山小学校 B 的場商店 C 木谷さんの家
 D 貝ヶ平山源流 E 桜井市のこの地点まで歩いた
 F 香酔山源流 (G地点からA地点まで川沿いを帰った)

源流たん検

山崎悠

今日、源流たん検に行きました。さいしょに行ったのが、下部神社の川です。流れがすごかったです。次に行った所は、まとは商店の近くの川に行きました。すくなく流れがおそかったです。そこに、魚もいました。次、行った所は、源流の近くです。源流の近くの坂を少し上りました。草尾先生が、「そこにのぼろう。」と言いました。のぼる時に、大きい木がたおれていて、わたしはまたぎました。わたしは、「つらい」と心の中で言っていました。またもどってきて、きゆうけいをしました。きゆうけいが終わって、進みました。坂をのぼっていくほど、坂が急になってきました。前の坂よりましでよかったです。のぼっていくと、水が少ない所もありました。のぼっていったとき、草尾先生が「あと百メートルで桜井につくぞ」と言いました。歩いてここまで来たのがうれしかったです。もう源流たん検は終わりだけど、楽しかったです。

源流探検

山本明日翔

今日、源流探検に行きました。まとは商店の近くではばが小さくなっていました。それから少し行くと、川の水をさわりました。とても冷たかったです。そしてずっと行って、山の中へ入っていききました。先生が、「なぜ石がいっぱいあるのでしょうか。」と言いました。ぼくは、「なぜだろうと思いました。先生は、「昔、火山だった。」と言いました。ぼくは、びっくりしました。そして、またずつと行ったら、源流に着きました。そこは、草がいっぱいはえている下でした。上る時、草がじゃましました。そして、ずつと歩いていると、桜井まで行きました。そこにかいだんがあつて、上って行くと町が見えました。帰る道は、馬場尾さんの道で帰りました。足がいたかったけど、おもしろかったです。



炭焼きを見せてもらいました

六月五日 炭やき見学

泉谷垣奈

今日、炭やき見学に行きました。さいしよに、レンガを出していました。火が消えてから五日ぐらいたつたと言っていました。だけど、そのレンガはまだあたたかかったのでびっくりしました。そして、中に入ってみると、上にどうくつみたいなあながありました。入れそうならいなあなだったのでおどろきました。炭をやく所は、もう五日ぐらいたつているのにサウナみたいなあつさでした。もう全部レンガを出して中をのぞくと、上にあながなくて、おくに炭がいっぱいありました。わたしは、すごいなと思いました。そして、炭も全部出すと、六人立って入れるぐらいのあなだったのでびっくりしました。だけど、あつかったので、息ができませんでした。そして、さいごに炭をもらって帰りました。



炭やき見学

曾賀野由佳

今日、二時間目から炭やき見学に行きました。はじめにバーベキューに使ったりする炭を見せてくれました。中谷さんが炭をのこぎりで切って、わたしたちに炭をくれました。炭は、はじめにふたをあけて、二日間ほどもやしているそうです。二日間もやしているとはじめて聞いたので、びっくりしました。炭に使っている木は、くぬぎ、ほそ、しらぎ、さくらなどだそうです。一回みんなでかまの中へ入ってみました。とてもあつかったです。次に、かまの中に木のぼうを半分に切ったやつを入れる作業を、匠真さんとわたしで見ました。炭やきをしている中谷さんたちは、すぐくあせを出していました。それが終わったら、次は愛弥ちゃんがかまの中へ入って、天まどを見せてもらっていたそうです。見せてもらったら、学校へ帰りました。帰ったら、教頭先生と森野先生に持って帰ってきた炭を見せてあげました。炭を作るかまの中へ入れてうれしかったです。

炭やき見学

松田匠真

今日、炭やきを見に行きました。行ってみると、もうできていて、その炭を切ったのをもらいました。それから炭を作るかまの中に入ってみると、上に天まどという穴があいていました。それからまわりを見るとまるくなっている、それは、赤土でできていると聞きました。横に木がいっぱいあって、その木の名前は、くぬぎ、ほそ、さくらやしらぎだと教えてもらいました。下に一メートルほどの木をおいて、上にこえだをのせ、こえだに火をつけると下にも火がうつって、二日間もやしておきます。なぜ上に火をつけるのか聞くと、「下やと重みがあるから。」と言いました。ぼくは、そうなんだと思いました。ぼくは、炭をもらえたのでうれしかったです。

おうちの方へ 奥田さんの家にある炭窯で炭焼きをしておられる中谷さん、広中さん、山本さんに、炭出しと薪入れの作業を見学させていただきました。炭窯に入ったり、炭をお土産にももらったり、中谷さんからはおやつとジュースまでいただいて、子どもたちは大満足の半日でした。

■小学校4年・学年つうしん

ほくと

2012. 6.6 (水)

No. 15

炭焼きを見せてもらいました II

六月五日 炭やき見学

今日、炭やきを見学しました。さいしよは、すぐくびつくりしました。炭をやくかまの中に入りました。少し近づくと、あたたかいねつがきました。わたしが入つてみると、中がすぐくあつかつたです。火が消えてから五日間もおいているのにまだ中があたたかいことを、はじめて知りました。草尾先生が、「持つて帰つてバーベキューして食べてもいいよ。」と言いました。校長先生が、「今日は肉を食べたいな。」と言いました。みんなわらつていました。中谷さんが、「空気にふれるとかたくなる。」と言いました。わたしは、いろいろなことを教えてもらいました。炭やきの中にはいろいろなふしぎなことがあつたから、わたしはすぐくうれしかつたです。炭やきのかまの中に入った時、すぐくまつくらでした。六人入れました。一番上がすぐくもつこりしていました。みんな入ると、わたしが立てました。こんなに広いと思つていませんでした。よそうでは、もつとせまいのかと思つていました。だけど、中に入つてみると、すぐく広くてあたたかかつたからよかつたです。草尾先生が、「炭がなくなつたらまたもらいに来たら。」と言いました。みんなが、「もう。」と言いました。わたしも、炭がなくなつたらまたもらいたいです。炭ももらったし、いろいろ教えてもらったからよかつたです。



山崎悠